

進路指導室から 第263号

はじめに

2月3日(月)は、「節分」でした。「節分」とは「節を分ける」という意味があります。「節分」は年に4回あり、春は「立春」、夏は「立夏」、秋は「立秋」、冬は「立冬」と呼ばれています。その中でも、「立春」は、古くから新年と同じくらい大切にされてきました。

さて、「節分」の食べ物といえば、「恵方巻き」です。今でこそ全国に広がっていますが、かつては関西地方の一部で続いていた習慣でした。大学時代は関西地方で過ごしましたが、「節分」の日は下宿の大家さんに「丸かぶり寿司」(大家さんはそう呼んでいました。)をご馳走していただいた思い出があります。もう30年以上の前のことです。西宮市夙川にあった下宿も1995年の阪神・淡路大震災で倒壊し、既にもありません。この時期になると、大家さんと一緒に恵方に向かって食べた「丸かぶり寿司」のことをふと思い出します。

「出願に向けての指導」について

大学入試センター試験が終わり、およそ2週間がたちました。この間、何人かの生徒から国公立大学の出願先についての相談を受けました。その多くは、思うように得点できなかったため、これまでの志望していた大学を出願するべきか、それとも、志望校を変更するべきかといった内容でした。以下は、私が生徒たちにアドバイスする際の留意点です。

□ 合格最低点

まず、現実合格する可能性があるかを見極めます。合格するためには、最低点をクリアすればいいので、最低点について過去5年(場合によってはそれ以上)くらい遡って確認します。もし、生徒の得点が該当すれば、合格する可能性があることを生徒に示します。

〔広島大学一般入試【前期日程】実施状況：大学入試センター試験合格者最低点〕

学部	学科	配点	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
総合科	総合科	900	594	579	582	607	612
文	人文	1100	763	782	773	812	828
教育	一類(初等)	900	597	609	630	582	606
法	法	900	592	598	604	605	621
経済	経済	900	585	600	610	602	596
理	数学	900	622	582	644	595	607
薬	薬	900	708	712	683	672	715
工	第一類(機械・輸送・材料・エネルギー)	900	578	574	586	572	591
生物生産		900	624	609	593	613	633

□ 競争倍率

大学や学部によって競争倍率の特徴はいろいろです。ほぼ毎年、同じような競争倍率が続いているケース、年によって大きく競争倍率が変わるケースなどがあります。その特徴を把握し、どのような受験になるのか生徒に考えさせます。

〔広島大学一般入試【前期日程】実施状況：受験(実質)倍率〕

学部	学科	2016年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
総合科	総合科学科	2.5	2.5	2.5	2.2	2.5
文	人文	1.8	1.7	2.0	2.8	2.0
教育	一類(初等)	1.9	1.5	1.9	1.6	1.9
法	法	2.1	1.6	2.0	2.0	1.6
経済	経済	1.7	2.3	2.0	2.7	2.3
理	数学	1.5	2.1	2.4	1.5	2.1
薬	薬	3.7	3.7	4.2	3.9	3.7
工	第一類(機械・輸送・材料・エネルギー)	2.4	2.5	2.6	2.8	2.5
生物生産		2.1	2.5	2.0	2.0	2.5

□ **二次（個別）試験の学力**

秋に生徒が受験したの記述式の模試の成績を参考にします。ただし、あくまで秋の段階での力を測ったもので、現在の力を示すものではありません。二次（個別）試験まで時間があります。これからの取り組み次第で、合格に必要な力をつけることができます。

□ **志望動向**

全体概況や学部系統の志望動向を見て、受験者の動向を確認します。

〔国公立大の志望動向（全体概況）〕

	全 体	現 役	既 卒
難関10大	95%	97%	84%
準難関・地域拠点大	94%	95%	85%
その他大	96%	97%	91%
国公立大	96%	97%	87%

〔国公立大の志望動向（学部系統）〕

	全 体
文・人文	95%
社会・国際	96%
法・政治	93%
経済・経営・商	94%
教育（教員養成課程）	95%
教育（総合科学課程）	90%
理	100%
工	98%
農	92%
医・歯・薬・保健	94%
生活科学	93%
芸術・スポーツ科学	99%
総合・環境・情報・人間	103%

※ 河合塾「センター・リサーチ分析報告会資料を参照

※ 難関10大：旧帝国大・東工大・一橋大・神戸大

※ 準難関・地域拠点大：筑波大・千葉大・横浜国大・新潟大
金沢大・岡山大・広島大・熊本大・東京都立大・大阪市大

大学入試センター試験の受験者が前年度4%程度減少したことを考えれば、「難関10大」と「準難関・地域拠点校」が減少し、「その他大」は前年度を維持しています。実際の出願においては、最近の現役志向もあり、「その他大」が増加することが予想されます。また、今年度は「理」と「総合・環境・情報・人間」が人気となっています。

□ **募集定員・入試科目等の変更**

募集定員・入試科目等の変更により競争倍率が変わる可能性があります。また、合格者数はたいいていの場合は募集定員よりも多く確保します。そのあたりも確認し、合格可能性が広がることを伝えます。

〔広島大学一般入試【前期日程】実施状況：受験（実質）倍率〕

学 部	学 科	2016年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
		定員	合格者数	定員	合格者数	定員	合格者数	定員	合格者数	定員	合格者数
総合科	総合科	100	103	100	108	100	108	90	95	90	93
文	人文	95	107	95	107	95	106	90	99	90	102
教育	一類（初等）	112	119	112	116	102	107	102	109	102	107
法	法	110	128	110	128	110	128	110	128	110	126
経済	経済	110	134	110	136	110	133	110	132	110	131
理	数学	26	31	26	30	26	30	26	26	26	29
薬	薬	33	35	33	35	33	34	33	35	33	26
工	第一類	92	105	92	100	92	100	122	130	122	131
生物生産		65	81	65	77	65	83	65	80	65	75

□ **二次（個別）試験の問題**

二次（個別）試験の問題の内容の適性は個々の生徒により異なります。適性があれば、二次（個別）試験で逆転できる可能性があります。

□ **生徒本人の意欲**

一番大切なことだとは生徒本人の意欲です。「必ず逆転してやる」という気持ちがなければ二次（個別）試験に対して本気になれません。私がアドバイスした生徒はみんな、これまで志望していた大学を受験することに決めたようです。これからの彼らの頑張りを期待しています。

終わりに

この時期の生徒へのアドバイスは、データに基づく説明が必要です。生徒の本音の気持ちを引き出し、そして、生徒の背中をしっかりと押し、前に進ませることだと思っています。私を信頼してくれる生徒を入試（勝負）で負けさせるわけにはいきません。

（文責：進路指導部 池本 邦彦）